

エコアクション21

環境経営レポート

2022年10月～2022年12月(試行期間)



有限 藤尾
会社 自利利他

2023年1月31日

目 次

1.組織の概要	P1
2.認証・登録の対象範囲	P2
3.環境経営方針	P3
4.エコアクション21実施体制	P4
5.環境経営目標と実績	P5
6.環境経営計画及び次年度の取組み内容	P6
7.環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果、 並びに違反、訴訟等の有無	P7
8.代表者による全体評価と見直し・指示の結果	P8

1.組織の概要

- ①事業所名 有限会社 藤尾
- ②代表者名 代表取締役 松葉友輝
- ③所在地 本社 〒811-5132 長崎県壱岐市郷ノ浦町東触1602番地
 第一倉庫 〒811-5132 長崎県壱岐市郷ノ浦町東触1602番地
 第二倉庫 〒811-5132 長崎県壱岐市郷ノ浦町東触1602番地
 第三倉庫 〒811-5132 長崎県壱岐市郷ノ浦町東触1602番地
- ④設立年月日 平成12年 5月30日
- ⑤資本金 500万円
- ⑥環境管理責任者 取締役 高松靖士
 連絡先 T E L 0920-47-2463
 F A X 0920-47-5770
 E-mail fujio2463@ikisanpai.co.jp
- ⑦事業の内容 特別管理産業廃棄物の収集運搬業 産業廃棄物の収集運搬業
 一般廃棄物の収集運搬業 産業廃棄物の中間処理業(金属くず)
 再生資源回収業
- ⑧事業年度 2月～翌年1月
- ⑨事業の規模

事業所名	所在地		従業員数	敷地面積・床面積
本社	長崎県壱岐市郷ノ浦町東触1602番地		8名	48.6㎡
第一倉庫	長崎県壱岐市郷ノ浦町東触1602番地		無人	273.3㎡
第二倉庫	長崎県壱岐市郷ノ浦町東触1602番地		無人	96.0㎡
第三倉庫	長崎県壱岐市郷ノ浦町東触1602番地		無人	100.8㎡
総売上額	第20期(平成31年2月～令和2年1月)	第21期(令和2年2月～令和3年1月)	第22期(令和3年2月～令和4年1月)	
	142百万円	150百万円	120百万円	

※試行期間中(2022年10月～12月)売上額…30百万円

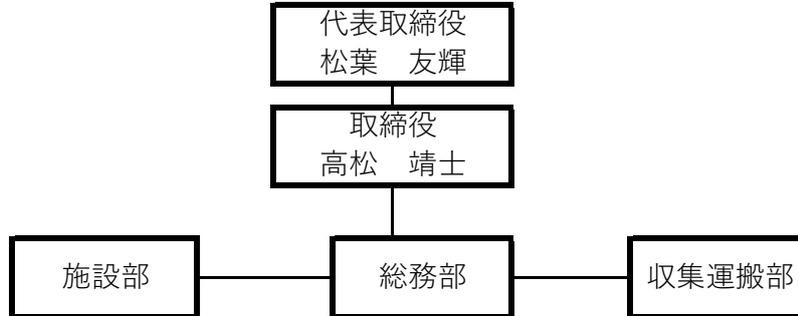
- ⑩許可情報 ※積替え保管 ○：有 ●：無

産業廃棄物収集運搬業			許 可 品 目															
都道府県	許可番号	許可年月日 及び有効期限	燃 え 殻	汚 泥	廃 油	廃 酸	廃 ア ル	廃 プ ラ	紙 く ず	木 く ず	織 維 く ず	ゴ ム く ず	金 属 く ず	ガ ラ ス 他	が れ き 類	石 膏 ボ ー ド	石 綿 含 有	水 銀
長崎県	4210083853	令和4年3月20日 令和9年3月19日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○
		保管上限	1.0㎡	6.0㎡	1.6㎡	1.0㎡	1.0㎡	14㎡	3.5㎡	35㎡	3.5㎡	3.5㎡	—	21.3㎡	3.5㎡	7.0㎡	7.0㎡	0.14㎡
		積替え保管面積	12.25㎡	12.25㎡	2.25㎡	2.25㎡	2.25㎡	12.6㎡	5.67㎡	46.2㎡	5.67㎡	5.67㎡	—	34.44㎡	60.0㎡	11.34㎡	48.0㎡	5.67㎡
福岡県	4210083853	令和4年4月4日 令和9年4月3日	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
特別管理産業廃棄物収集運搬業			許 可 品 目					産 業 廃 棄 物 処 分 業										
都道府県	許可番号	許可年月日 及び有効期限	廃 油	廃 酸	廃 ア ル	感 染 性	汚 泥	都道府県	許可番号		許可品目	処分方法						
長崎県	4260083853	平成30年9月5日 令和5年9月4日	○	○	○	○	○	長崎県	4220083853		金属くず	圧縮						
		保管上限	1.0㎡	1.0㎡	1.0㎡	1.0㎡	1.0㎡											
		積替え保管面積	1.44㎡	1.44㎡	1.44㎡	1.26㎡	1.44㎡											
福岡県	4050083853	平成30年6月25日 令和5年6月24日	●	●	●	●	●	許可年月日及び有効期限		令和元年6月11日～令和6年6月10日								

2. 認証・登録の対象範囲(全組織・全活動)

- ①事業活動 一般廃棄物収集運搬・産業廃棄物収集運搬・産業廃棄物中間処理・金属リサイクル
- ②対象事業所 本社・第一倉庫・第二倉庫・第三倉庫
- ③対象外事業所 なし(全組織・全活動)

④組織図



⑤車両情報

車両形式	保有台数	車両形式	保有台数
12 t キャブオーバ	1	3 t ユニック	1
10 t ダンプ	2	2 t ダンプ	1
9 t ダンプ	1	保冷軽トラック	1
6 t ユニック	1	軽トラック	1
4 t コンテナ	1	合計	10

⑥重機情報

重機形式	保有台数	重機形式	保有台数
油圧ショベル225	1	油圧ショベル30	1
油圧ショベル120	3	フォークリフト25	2
油圧ショベル75	1	フォークリフト40	1
油圧ショベル40	1	合計	10

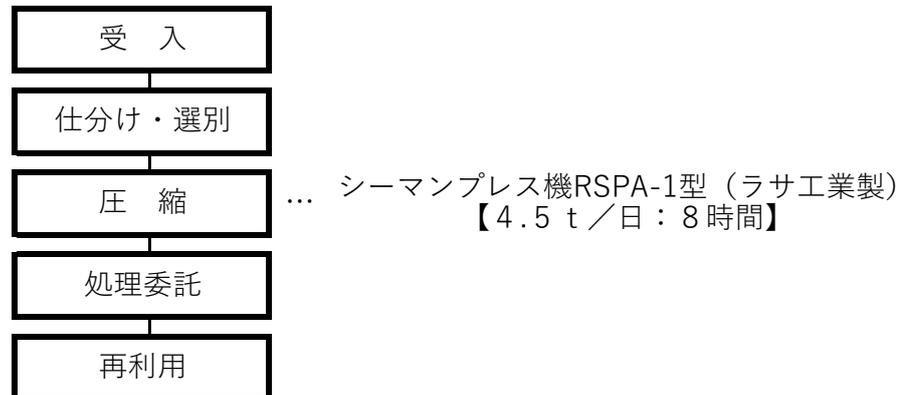
⑦収集運搬量

試行期間(令和4年10月～12月)		(単位: t)
産業廃棄物収集運搬量		283
特別管理産業廃棄物収集運搬量		0
一般廃棄物収集運搬量		17
合計		300

⑧中間処理量

試行期間(令和4年10月～12月)		(単位: t)
産業廃棄物中間処理量		30
合計		30

⑨処理工程・処理能力



3.環境経営方針

環境理念

有限会社藤尾は、廃棄物処理事業活動を通しての環境保全を重要課題と認識し、「人と自然の共生、美しい地球環境を次世代へ」を基本理念と定め、かけがえのない自然環境を未来へ残せるように企業の社会的責任を果たします。また、環境負荷の低減及び廃棄物の再資源化を積極的に行い、環境保全並びに循環型社会の構築に向けて全社をあげて取り組みます。

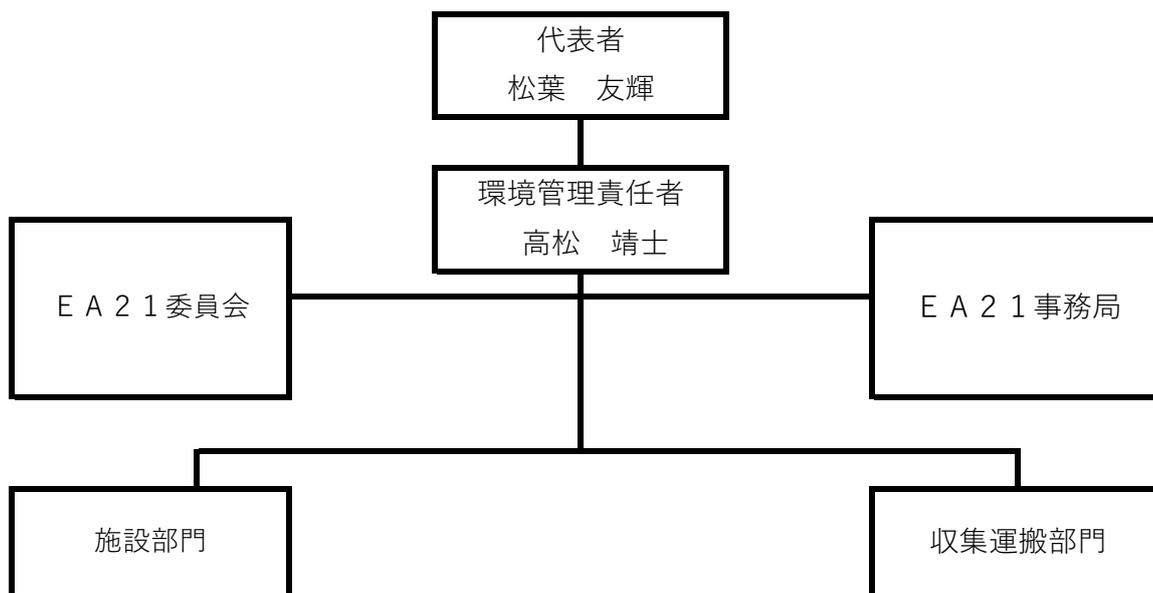
環境方針

1. 当社は、事業活動の実状を踏まえ、次の項目に対して重点的に取り組みます。
 - ①節電及び省エネに努め、電力使用量を削減します。
 - ②収集運搬車両のエコドライブに心掛け、燃料使用量を削減します。
 - ③収集した産業廃棄物の再資源化を促進します。
 - ④節水に努め、雨水を有効に活用し、水使用量を削減します。
2. 事業に関連する環境関連法規、協定等を遵守します。
3. 事業活動を通して社会貢献を推進します。
 - ①不法投棄物及び海岸漂着物の回収を行い、地域の環境美化に努めます。
 - ②植樹活動を通して、地域の環境保全を推進します。
4. 環境経営システムのPDCAサイクルを通じて、環境経営の継続的改善を図ります。
5. SDG s を正しく認識し、次世代への橋渡しを行います。
6. 全従業員に環境への取り組みの重要性を周知します。



制定日 2022年 8月 29日
有限会社 藤尾
代表取締役 松葉友輝

4.エコアクション21実施体制



役割分担表

所 属	役割・責任・権限
代表者	<ul style="list-style-type: none"> ・代表者として環境経営全般について責任と権限を持つ。 ・環境経営方針を作成・見直し、従業員に周知する。 ・環境管理責任者、E A 2 1 事務局員を任命する。 ・環境への取組を実施するための資源（人・物・金）を準備する。 ・経営における課題とチャンスを確認にする。 ・E A 2 1 全体の取組状況に関し評価、見直しを実施する。
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> ・E A 2 1 ガイドラインの要求事項を満たす環境経営システムを構築及び実行し、環境実績を向上させる。 ・環境経営目標、環境経営計画を作成する。 ・社内全体に関連する緊急事態での準備及び対応の訓練を実施する。 ・3か月に1回、環境経営目標の達成状況及び環境経営計画の実施状況を確認・評価する。 ・上記の結果を代表者に報告する。
E A 2 1 委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・3か月に1回開催し、環境経営目標及び環境経営計画の実施状況を審議する。
E A 2 1 事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・環境管理責任者を補佐し、E A 2 1 文書及び記録類、及び基礎データの作成・維持・集計・管理を行う。 ・社外からの環境情報の収集と伝達を行う。
部門長	<ul style="list-style-type: none"> ・環境経営方針、環境経営目標、環境経営計画を全員に周知する。 ・環境経営目標達成のため、責任を持って環境活動を推進する。 ・発生した問題点の是正処置、予防処置を実施する。 ・関連する法規制等を順守する。 ・関連する緊急事態への準備及び対応の訓練を実施する。 ・教育・訓練を実施する。
全従業員	<ul style="list-style-type: none"> ・環境経営方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚する。 ・決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加する。

5.環境経営目標と実績

※環境負荷の調査結果により、当社の環境経営目標を下記のように設定した。
 ※目標設定の基準は第22期(2021年2月～2022年1月)の数値のデータを使用。

活動期間（試行期間）：2021年2月～2022年1月）

環境経営目標	単位	基準年 第22期	基準月 (試行期間)	試行期間目標 (△0.5%)	短期目標 (△0.5%)	中期目標		
		2021年2月～2022年1月	2021年10月～2021年12月	2022年10月～2022年12月	第23期 2022年2月～2023年1月	第24期 2023年2月～2024年1月	第25期 2024年2月～2025年1月	第26期 2025年2月～2026年1月
二酸化炭素排出量の削減	kg - CO ₂	56,426	12,221	12,160	56,144	55,862	55,580	55,297
1 (1) 電気使用量削減	kWh	9,917	2,029	2,019	9,867	9,818	9,768	9,719
(2) ガソリン使用量削減	L	1,122	249	247	1,116	1,111	1,105	1,099
(3) 軽油使用量削減	L	19,239	4,096	4,076	19,143	19,047	18,950	18,854
(4) 灯油使用量削減	L	204	130	129	203	202	201	200
2 (1) 一般廃棄物排出量削減	k g	945	250	249	940	936	931	926
3. 水使用量の削減	m ³	34	8	8	34	34	33	33
4. 地域社会への貢献	回	3	1	1	4	4	4	5
5. 単位収集運搬量当たりのCO ₂ の排出量	CO ₂ / t	48.3	44.9	44.7	48.0	47.8	47.5	47.3

走行距離	k m	31,724	6,812					
収集運搬量	t	1,169	272					

備考

- 購入電力の二酸化炭素排出係数は、0.371kg-CO₂/kWh（九州電力2019年度分調整後）を使用した。
- （ ）内％は第22期実績をベースとして削減率を示す。

環境経営目標	単位	基準年 第22期	基準月 (試行期間)	実績 (△0.5%)	評 価
		2021年2月～2022年1月	2021年10月～2021年12月	第23期 2022年10月～2022年12月	
二酸化炭素排出量の削減	kg - CO ₂	56,426	12,160	10,951	○ 全体的には抑える事ができた。
1 (1) 電気使用量削減	kWh	9,917	2,019	2,127	△ 動力を用いたプレス機新設のため増加傾向となった。
(2) ガソリン使用量削減	L	1,122	248	172	○ 乗り合せ等にて使用頻度を抑えられた。
(3) 軽油使用量削減	L	19,239	4,076	3,755	○ 空気圧点検等車両整備を心掛けた。
(4) 灯油使用量削減	L	204	129	30	○ 空調に依存しない防寒対策を心掛けることができた。
2 (1) 一般廃棄物排出量削減	k g	945	249	210	○ ゴミのスリム化の意識付けができつつあった。
3. 水使用量の削減	m ³	34	8	6	○ 節水への意識向上ができた。
4. 地域社会への貢献	回	3	1	2	○ 海岸漂着物の回収を行うことができた。
5. 単位収集運搬量当たりのCO ₂ の排出量	CO ₂ / t	48.3	44.7	38.7	○ ルートの効率化が成果として現れた。

(参考値)

○=達成 △=次回努力

走行距離	k m	31,724	6,812	8,319	
収集運搬量	t	1,169	272	283	

6.環境経営計画及び次年度の取組み内容（試行期間）

1. 二酸化炭素排出量の削減

取組目標		達成手段	取組みにリンクしたSDG s
1	電気使用量の削減	空調の適温化を徹底する。	 
		夜間・休日はPCやプリンタ等の主電源を切る。	
		グリーンカーテン・断熱シート等時候に応じた対応をする。	
2	ガソリン使用量の削減	中間期のエアコンの使用量を控える。	
		エコドライブを心がける。	
3	軽油使用量の削減	空気圧点検を定期的に行う。	
		エコドライブを心がける。	
4	灯油使用量の削減	窓に断熱シート等を貼り付け、熱のロスを防止する。	
		衣類等である程度の体温調整を行う。	

2. 廃棄物排出量の削減

取組目標		達成手段	取組みにリンクしたSDG s
1	一般廃棄物排出量の削減	適切なシュレッダーを行い、スリム化に努める。 差し支えない書類は可能な限り裏面利用する。	

3. 水使用量の削減

取組目標		達成手段	取組みにリンクしたSDG s
1	水使用量の削減	雨水を有効的に利用する。 節水を心がける。	

4. 地域貢献活動の推進

取組目標		達成手段	取組みにリンクしたSDG s
1	地域貢献活動の推進	不法投棄物・海岸漂着物の回収する。	 
		植樹活動を行なう。	

※地域貢献活動(海岸漂着物回収)の様子



7.環境関連法規への違反（順守評価結果）、訴訟等の有無

当社に関する法規制		要求事項	違反有無
1	廃棄物処理法	許可事業者への委託、許可証の更新、保管基準の遵守、管理票の管理・報告	遵守
2	家電リサイクル法	許可証の申請・リサイクル券の発行	遵守
3	騒音・振動規制法	プレス機の届け出、作業時間の遵守	遵守
4	消防法	施設の届け出、設備点検実施	遵守
5	労働安全衛生法	重機等の免許・資格証の携帯 工場内における規律	遵守
6	道路交通法	運転免許の取得・携帯 各車両の登録	遵守
7	個人情報保護法	個人情報の機密	実施
8	計量法	計量器の定期的な検査	遵守
9	フロン排出抑制法	許可証の更新、行政への届出、簡易点検・定期点検	実施

- ・環境関連法規への違反、訴訟はありません。
- ・関係当局よりの違反等の指摘・指導は過去8年間ありません。

8.代表者による全体評価と見直し・指示の結果

環境活動の取組への評価

環境経営目標として二酸化炭素排出量の削減、廃棄物排出量の削減、水使用量の削減、地域貢献活動の推進という4項目を掲げ活動を行いました。

試行期間ということもあり戸惑いながらもある程度は取り組むことができましたが、また実施できていない取り組みがあったので今後はもっと社員一丸となって取り組んでいきたいと思えます。

今後の対策

- ・ルートの効率化を更に図り、できるところから二酸化炭素の排出量を削減していきたいと思えます。
- ・時候に応じてグリーンカーテンや断熱シートの使用等、エコで過ごしやすい職場環境へと改善していけたらと考えています。
- ・構内及び事務所内での整理整頓を徹底し、作業効率の向上や安全に業務を遂行できる会社づくりに力を注ぎ、これによりお客様からの視認性向上や廃棄物処理へのイメージアップへつなげていけるように努力していきたいです。

